

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 10 月 31 日 (2019.10.31)

【公開番号】特開 2019-137653 (P2019-137653A)

【公開日】令和 1 年 8 月 22 日 (2019.8.22)

【年通号数】公開・登録公報 2019-034

【出願番号】特願 2018-24280 (P2018-24280)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/02 (2006.01)

A 6 1 K 8/891 (2006.01)

A 6 1 K 8/92 (2006.01)

A 6 1 K 8/25 (2006.01)

A 6 1 K 8/58 (2006.01)

A 6 1 K 8/81 (2006.01)

A 6 1 K 8/29 (2006.01)

A 6 1 K 8/19 (2006.01)

A 6 1 K 8/49 (2006.01)

A 6 1 Q 1/00 (2006.01)

A 6 1 Q 1/10 (2006.01)

A 6 1 Q 1/12 (2006.01)

A 6 1 Q 1/08 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 8/02

A 6 1 K 8/891

A 6 1 K 8/92

A 6 1 K 8/25

A 6 1 K 8/58

A 6 1 K 8/81

A 6 1 K 8/29

A 6 1 K 8/19

A 6 1 K 8/49

A 6 1 Q 1/00

A 6 1 Q 1/10

A 6 1 Q 1/12

A 6 1 Q 1/08

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 9 月 18 日 (2019.9.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

粉体成分及び油性成分を含有する固形粉末化粧料であって、
前記油性成分の含有量が、固形粉末化粧料全量を基準として、5～25質量%であり、
前記粉体成分の含有量が、固形粉末化粧料全量を基準として、75～95質量%であり

前記油性成分が、(A) 25 での粘度が $4000 \sim 100000 \text{ mPa} \cdot \text{s}$ のシリコン化合物と、(B) 25 において半固形状の油剤と、を含有し、

前記(B)成分として、ペンタエリスリトール脂肪酸エステル、ワセリン、ダイマー酸エステル、ダイマージオール誘導体、フィトステロール脂肪酸エステル、及びコレステロール脂肪酸エステルからなる群より選択される1種以上の油剤を含む、固形粉末化粧料。

【請求項2】

前記(A)成分として、25 での粘度が $9000 \sim 100000 \text{ mPa} \cdot \text{s}$ のシリコン化合物を含む、請求項1に記載の固形粉末化粧料。

【請求項3】

前記(A)成分として、ジメチルポリシロキサン、ジフェニルポリシロキサン、及びジメチコノールからなる群より選択される1種以上のシリコン化合物を含む、請求項1又は2に記載の固形粉末化粧料。

【請求項4】

前記(B)成分が、ペンタエリスリトール脂肪酸エステル及びダイマージオール誘導体からなる群より選択される1種以上の油剤を含む、請求項1～3のいずれか一項に記載の固形粉末化粧料。

【請求項5】

前記(A)成分の含有量が、固形粉末化粧料全量を基準として、 $2.0 \sim 7.0$ 質量%であり、

前記(B)成分の含有量が、固形粉末化粧料全量を基準として、 $1.0 \sim 5.0$ 質量%である、請求項1～4のいずれか一項に記載の固形粉末化粧料。

【請求項6】

前記粉体成分が金属石鹸を含み、

前記金属石鹸の含有量が、固形粉末化粧料全量を基準として、 $1 \sim 8$ 質量%である、請求項1～5のいずれか一項に記載の固形粉末化粧料。

【請求項7】

前記粉体成分が板状粉体を含み、且つ、球体粉体の含有量が、固形粉末化粧料全量を基準として、 5 質量%未満である、請求項1～6のいずれか一項に記載の固形粉末化粧料。